

# 【千葉地域】令和元年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

## 1 展示の概要

設置場所	市原市	品種	夢あおば
土性	壤質土	播種日	4月25日
播種量	240g/箱	移植日	5月15日(疎植)
幼穂形成期	7月5日	出穂期	8月7日
成熟期	9月18日	収穫日	9月20日

## 2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	85.6cm	穂長	21.9cm
穂数	245本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	0
粗玄米重	521kg/10a	標準単収値	517kg/10a

## 3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

### (1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：鶏糞
- ・施用量：700kg/10a
- ・施用時期：平成31年3月

### (2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・基肥N量：11.2kg/10a ※肥料銘柄：-
- ・追肥実施日：7月14日
- ・追肥N量：2.8kg/10a ※肥料銘柄：オール14

### (3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：5月15日

### (4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：41株/坪
- ・植付本数(4~6本/株を推奨)：3.6本/株

## 4 考察等

栽培管理のポイントに基づいた管理を行ったが、台風による倒伏等の影響によって、収量が伸びなかった。

### (参考) 多収品種に必要な施肥量

	夢あおば
基肥N量	9kg/10a(壤質土の場合)
穂肥N量	3kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1~2mmの時期)に施用します